

**授業概要**

現代は世代間でまったくことなった「生き方 lifestyle」が普通となっている時代です。Life には人生や命といった様々な訳語が考えられますが、なかでも急速に進歩した医療や科学技術の影響を大きく受けたのが、誕生や死など、「生命」に関わる領域です。この授業では、この「生命」としての「生き方」の問題を扱う倫理学を学びます。初学者を対象としています。

**授業計画**

第1回	生命の倫理をどのように学ぶか
第2回	生命をどのように理解するか
第3回	ケアとはなにか
第4回	ケアの倫理
第5回	インフォームド・コンセント型医療
第6回	安楽死
第7回	尊厳死
第8回	人工妊娠中絶
第9回	脳死と臓器移植
第10回	レポートの書き方
第11回	遺伝子操作
第12回	ビジネス倫理と生命倫理の交差点
第13回	出生前診断
第14回	終末期医療
第15回	全体のまとめ
第16回	筆記試験

**到達目標**

- 各講義終了後に、それぞれのトピックとその歴史的背景を説明することができる。
- 生命倫理的な問題に対して、具体的な懸念を普遍的な価値観を踏まえて指摘することができる。

**履修上の注意**

- 遅刻3回で欠席1回とします。ただし、初回講義は履修上の注意を行うため必ず出席してください。
- 「質問」は可能な限り、いつでも、なんでも、対処します。

**予習復習**

- 各講義開始時に前回の簡単な復習を行います。法律など、歴史事項的な内容については筆記試験対策も兼ねてしっかりと復習すべきです。
- 倫理学でも、哲学的に「考えること」と「言葉を使うこと」は予習の課題となります。講義の最後に、次回に関連する簡単な課題を課す予定です。

**評価方法**

- 筆記試験（持ち込み可、テーマ事前指定＋歴史事項的問題）80%
- 平常点（リアクションペーパー）20%

**テキスト**

特に指定しません。参考となる、哲学者の著作や、日本語で読める文献については、各講義において紹介します。